

北陸地区

JUA Newsletter for Next Uro-Generation

医学生・初期研修医のための泌尿器科Newsletter



金沢医科大学は能登半島の基部に位置します。本学は1973年（昭和48年）に津川龍三初代教授により創設され、1997年（平成9年）に第2代鈴木孝治教授に引き継ぎ、2013年（平成25年）から現在の宮澤克人教授が就任しました。

講座の臨床的特色として腎移植を初代の津川龍三名誉教授から、尿路結石症と上皮小体の診療を二代

5月から『ダヴィンチ』を導入しロボット支援手術を開始しております。

研究面では『Inolithiasis』誌のAssociate Editor

金沢医科大学 泌尿器科学講座です！

目の鈴木孝治名誉教授から受け継いでおります。宮澤は前立腺癌治療として2007年から（当時、准教授）密封小線源療法を、2015年

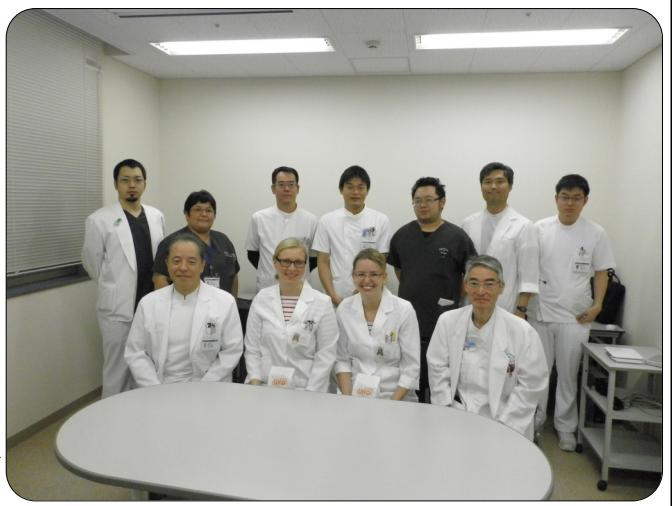
ら、および国際尿路結石症学会運営委員である宮澤克人教授の指導の下、現在3名の大学院生が尿路結石の分野で実験を行っております。特に尿路結石に対する結石関連高蛋白質の分析からGDNAマイクロアレイやGWASにいたる最先端の技術を駆使して結石の発生と再発予防の研究を行い、国内外から高い評価を受けています。

腎移植に関しては田中達朗教授をチームリーダーとし、生体腎移植249件、献腎移植術56件の実績を持ちます。北陸の腎移植をリードする立場にあり、急性拒絶反応の早期診断の臨床的研究、献腎移植の腎保存に関する基礎的な研究を行っています。

尿路結石治療では早くから体外衝撃波結石砕石術(ESWL)を導入し症例数は6000例を超え、内視鏡手術である経尿道的尿管結石砕石術(URS)や経皮的腎結石砕石術(PNL)も積極的

に行っています。また、腎癌、膀胱癌、前立腺癌などの悪性疾患に対する外科的治療、女性泌尿器科疾患、前立腺肥大症による排尿機能障害に対する内視鏡手術にも積極に取り組んでいます。研修医の先生にはこれらの手術に積極的に参加してもらい、チームの一員としてともに充実した毎日を過ごしてもらっています。

最近ではドイツのマクテブルク大学の学生も当講座に留学しております。(写真)



毎週の症例検討会に加え、1か月に1回の腎臓内科・多職種との移植カンファレンス、2か月に1回の放射線科および病理学部の3科合同カンファレンスを主催しており研修医の先生たちにも活発なディスカッションに参加していただいております。また、当講座は主に能登地方と金沢市内の病院やクリニックと密に協力・連携体制をとっております。地方の最新の実践した医療

を提供できるよう日々努力しております。主な関連施設は以下のとおりです(五十音順)。

- ・ 浅ノ川総合病院 (病床数500)
- ・ 穴水総合病院 (病床数177)
- ・ 宇出津総合病院 (病床数120)
- ・ 金沢医科大学氷見市民病院 (病床数250)
- ・ 恵寿総合病院 (病床数426)
- ・ 済生会金沢病院 (病床数260)
- ・ 南砺中央病院 (病床数190)
- ・ 能登総合病院 (病床数536)
- ・ 長谷川病院 (病床数40)
- ・ 福井赤十字病院
- ・ やわたメディカルセンター (病床数227)

以上の施設には専門研修プログラム参加施設もありローテートは可能です。希望の先生は声をかけていただければ、十分検討させていただきます。

このように当講座ではアクティブな臨床

経験、研究が可能です。それに加え、和気あいあいとした医局の雰囲気も魅力と考えています。

本年八月には、能登一周を貸し切りバスで旅行してきました。臨床面・研究面ではつらいこと、しんど



いこともあるかもしれませんが、みんな笑顔で楽しく過ごせるのも当講座の特色です。研修医の皆様、医局員一同、お待ちしておりますので、ぜひ一緒に研修

しましょう。

近沢 逸平
〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1-1
金沢医科大学 泌尿器科
TEL: 076-218-8145
FAX: 076-286-5516
E-mail: i-chika@kanazawa-med.ac.jp

研修医から一言!
私は研修医1年の矢部友久と申します。十一月・十二月の2か月間、泌尿器科をローテートさせて頂いております。泌尿器科では腎癌・

前立腺癌・膀胱癌など各種泌尿生殖器の悪性腫瘍、結石、尿路感染症など様々な疾患に対して外科・内科両方のアプローチで診療を行っていても興味深く感じました。

研修医の日常業務としては主に外来での検査を行って頂きます。具体的には先生方の指導の下、残尿や腎、前立腺のエコー検査や尿沈渣の鏡検を行い、外来での診療の一部を行わせて頂いています。また、尿管鏡、尿管ステントなど各種デバイスの挿入を行う前処置の尿道麻酔をかけることなどが挙げられます。透視下で行うステント交換などの手技の補助などもさせて頂いております。

月曜日と金曜日は手術日です。膀胱癌のTURPやda Vinci Xiを用いた前立腺癌に対するRALP、尿路結石に対するTULなどを行っており、TURPやTULでは上

級医の先生方の指導の下で自分も少しだけ実際にさせて頂く機会もありました。楽しく研修をさせて頂いております。

今後高年齢化が進み泌尿器科疾患はますます増加していくことが予想され、また今や前立腺癌が男性のがん罹患のトップに躍り出てきていることなどからも、どの科に進むにしても泌尿器科との関わりは強くなっていくと考えられます。

泌尿器科での研修は残り1か月ですが、少しでも多くのことを吸収して今後の研修・診療の糧にできるように努めたいと思います。



富山県立中央病院

富山県立中央病院泌尿器科は常勤医師3名とレジデント2名の計5名で診療にあたっています。県がん診療拠点病院に指定されており、日々多くのがん患者さんの検査・治療を行っています。

北陸地区の基幹病院から

当院では患者さんの負担を少しでも減らすようと低侵襲治療に積極的に取り組み、腎がんや前立腺がんに対する腹腔鏡下小切開手術(ミニマム創手術)や腹腔鏡手術を数多く行っ

てきました。2015年度には最新の手術支援ロボットDa Vinci Xiを導入し、今後はロボット支援下での前立腺全摘除術や腎部分切除術も積極的に行っていく予定です。また、当科では末期

腎不全に対する腎移植手術を積極的に行っています。腎移植については北陸三県で最も古い歴史を有し、現在までに100例を超える腎移植を行ってきました。他科との密なチーム医療により全国水準の成績を上げており、今後北陸の移植医療の発展に貢献していきたいと考えています。

がん診療や腎移植のみではなく、尿路結石症や前立腺肥大症に対するレーザーを用いた内視鏡手術(経尿道的尿路結石除去術:TUL、経尿道的レーザー前立腺核出術:HoLEPなど)も積極的に行っており、レジデントにも多数執刀の機会があると思います。当院は富山県で随一の症例数を誇る病院であり、様々な症例を経験できる病院であると自負しています。泌尿器科医を目指す研修医や学生のみならず、忙しい病院ではありませんが当院と一緒に働きませんか?

(医長 川口 昌平)



後期研修医として働いて

私は富山県立中央病院で5年間の初期研修を行い、その時に泌尿器科の面白さ・奥深さに触れ、金沢大学泌尿器科に入局しました。そして2年目に後期研修医として再度同院への勤務となりました。富山県立中央病院は富山県の中核病院として位置しており、豊富な症例数を経験することが可能です。後期研修医として外来が

始まるので、主治医として症例を通じて様々なことを考え、学ぶことが出来ます。勿論、まだまだ未熟なため迷うこともありますが、相談しやすい雰囲気のため、安心して診療を行う事が出来ます。単なる疾患の治療法だけでなく患者の社会的背景に即した考え方を指導頂け、実臨床に即した臨床力をつけることも出来ます。また手術件数も多く、HoLEP・TUL・TUR-Btな

ど経尿道的手術を執刀できる機会に恵まれています。他にも腹腔鏡下小切開手術や腹腔鏡手術、腎移植などの高度な手術にも関わる事が出来ます。当院は忙しい病院ではありませんが、その分実力をつけられる病院だと思えます。是非当院に見学に来て雰囲気を感じて頂けるよう、心よりお待ちしております。 (後期研修医 加納 洋)

金沢医療センター

当院は石川県の県庁所在地、金沢市のまさしく街中に立地しており、日本三名園の一つである特別名勝『兼六園』に隣接し、旧前田藩家老職の奥村邸跡にあります。周囲は石川県が特に緑の環境保全に努めている本多の森公園であり、金沢市伝統環境保存区域に指定されています。近隣には県立美術館、歴史博物館、能楽堂、本多蔵品館などの文

化施設が立ち並び、中央風致地区ならびに文教地区にも指定されている自然と文化に恵まれた閑静な環境にあります。病院の歴史は明治6年にまで遡り、まさしく地域に根付いた地域住民から信頼される病院と言えます。精神病床42床を含む計554床、24科からなる急性期総合病院です。がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、災害拠点病院の指定を受け、また臨床研修指定病院として20名近くの初期臨床研修医を受け入れております。

泌尿器科としては、現在3名の常勤医(うち2名は専門医・指導医)が外来2診体制で、1日平均40数名の診察、検査にあたっています。手術(手術室内施行例)は年間180例前後、泌尿器科領域のほぼ全域がカバーされており、専門医の取得には十分な症例があります。専門医教育施設としては、大学医局から初期臨床研修を終えて間もない若手医師を2年ごとのローテーションで受け入れ、これまで4名の若手が専門医となって育って行きました。皆さんのその後の活躍ぶりを見るのは喜ばしい限りです。



のうち90%以上が小線源治療を選択されるようになりました。これらの実績が近隣開業医に認知され、検診以外のESU上昇患者の紹介を多く受けるようになりました。さらに尿路結石治療においては、経尿道的碎石術や体外衝撃波破砕術に加えて、平成26年より経尿道的碎石術と経皮的碎石術を同時に行な

う(TAP(TUL assisted PZ)手術を導入し、より効率の良い治療を提供しております。近々これまでの専門医制度が改変されますが、金沢大学病院に最も近い当院は、人的交流がやりやすく、手術時の応援も随時得られる体制を維持しながら、今後関連連携施設として医局の人材育成に協力していくつもりです。

福井赤十字病院

わたくしは福井赤十字病院で泌尿器科医として勤務している土山克樹といひます。

また余談ですが、文
化的活動の一つとし
て、当院で立ち上げ
たオーケストラがあ
ります(写真)。北
陸三県(福井、石川、
富山)の30近い医
療機関から、医師
(研修医、医学部生)、
看護師、薬剤師など
医療関係者、総勢6
0名近くが、半年に
1回のペースでクラ
シックの名曲(ベー
トベン、チャイコ
フスキーの交響曲や
ピアノ協奏曲など)
演奏会を当院講堂に
おいて院内コンサー
トとして行っていま
す。ここで演奏して
いた医学部生が泌尿
器科へ入局したとい
う実績も出て参りま
した。
(副院長 越田 潔)
写真:メデイカルオー
ケストラ金沢 (MOK)
演奏会/金沢医療セ
ンター 講堂にて

平成17年に福井大
学医学部を卒業し、
同大学院で2年間
の初期研修を行い、
卒業3年目に福井大
学泌尿器科学講座に
入局しました。初年
度は福井赤十字病
院で泌尿器科後期研
修医として勤務し、
以後は複数の関連病
院勤務、大学院生活
を経て現在に至って
います。
福井赤十字病院に
は医局人事異動の一
環として平成26年
より勤務しています。
前置きがとて長
くなりましたが、こ
のような背景の医師
として福井赤十字病
院での診療について
書かせていただきます。
福井赤十字病院は病
床600床のいわゆる
総合病院です。心
臓血管外科と精神科
の入院診療はありま
せんが、その他の診
療科はほぼ揃ってい
る病院です。私は泌
尿器科医として勤務
していますが、当院
では「泌尿器科」と
いう部署はなく「腎
臓・泌尿器科」と称
しています。理由は

腎臓内科と泌尿器科
が合同で診療科を運
営しているからです。
★腎臓内科医との連
携が緊密!!
ちなみに本原稿を書
いている現在、腎臓・
泌尿器科の医師は1
1名で、腎臓内科医
4名、泌尿器科医7
名で構成されていま



す。毎朝8時15分
頃から合同でモーニ
ングカンファレンス
を行い、新規入院患
者のプレゼンテーショ
ンや問題症例の検討
を行っています。泌
尿器科と腎臓内科は
本来診療科としては
異なりますが、腎癌
術後の慢性腎臓病、

SCrの管理、
血尿・蛋白尿の2次
検診など相互に関わ
らざるを得ない領域
もあり、2科が同じフ
ロアでFace to Faceに
診療を行えるのは非
常に恵まれた環境だ
と考えています。
★後期研修医の勤務
スタイルは?
現在、卒業3年目と
4年目の2名の泌尿
器科医が後期研修医
として勤務していま
す。外来診療として
初診・予約外再診1
日と予約再診1日を
行っています。とく
に予約制限などは行
っていませんので、良
性疾患から悪性疾患
まで幅広く診療して
いただいています。
手術は週3日です。
鏡視下手術、経尿道
的手術が多いですが、
陰嚢の手術、vasc
ular access、尿失禁手術
まで多岐にわたって
います。指導スタイ
ルはいわゆる屋根瓦
方式で、疑問点や対
処に困る状況は後期
研修医のみで抱え込
むことなく、先輩医
師が積極的に関わる
ようにしています。

指導が温かいかと
問われると、正直少
し返答に困ることも
ありますが、生命を
預かる以上最低限の
規律を求めようとし
ています。
★初期研修医の勤務
スタイルは?
現在、福井赤十字病
院には卒業1年目6
名、2年目5名の初
期研修医が在籍して
います。当院で2年
間の研修を行う方も
いますし、福井大学、
京都大学の研修プロ
グラムとのたすき
掛けで勤
務されて
いる方も
います。
腎臓・泌
尿器科は
内科系・
外科系の
いずれで
も選択が
可能とな
っており
皆さん1
2カ月の
範囲でま
わって来
られます。
結構人気
です♪



ちなみに福井大学泌
尿器科学講座の医局
員には当院での初期
研修後に入局した医
師も少なくありませ
ん。
医学部の皆さん、福
井赤十字病院で医師
としてのスタートを
切りましょう!そし
てほんの少し泌尿器
科を知ってもらえ
たら光栄です。
初期研修医の皆さん、
迷ったら泌尿器科!!
ぜひぜひ考えてみて
ください♪